【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和3年10月21日(2021.10.21)

【公開番号】特開2020-184928(P2020-184928A)
【公開日】令和2年11月19日(2020.11.19)
【年通号数】公開・登録公報2020-047
【出願番号】特願2019-91804(P2019-91804)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｋ　93/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｋ　93/00　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和3年9月10日(2021.9.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
重さ調整物の収容および排出が可能な収容空間を内部に有する本体部と、
前記本体部に着脱自在に取り付けられて前記収容空間に収容された重さ調整物を前記収容空間内に封入するキャップ部とを備えた釣り用浮き。
【請求項２】
前記本体部は道糸が挿通される道糸挿通路を有し、
前記道糸挿通路は、前記本体部の外表面の一部であるベース面から外方に張り出して設けられた挿通路形成部に形成された請求項１に記載の釣り用浮き。
【請求項３】
前記ベース面に、前記道糸挿通路に挿通された道糸側に向けて突出するスペーサ部が設けられた請求項２に記載の釣り用浮き。
【請求項４】
前記本体部の内部の前記収容空間よりも前記ベース面側の領域に、空気が封入される空気封入空間を備えた請求項２または３に記載の釣り用浮き。
【請求項５】
前記ベース面は、前記道糸挿通路に挿通された道糸の延びる方向に２つの等辺が延びるほぼ二等辺三角形の形状を有しており、前記本体部は、前記ベース面をひとつの面とする三角錐形状に形成されている請求項２～４のいずれかに記載の釣り用浮き。
【請求項６】
前記重さ調整物は液体又は粒状体から成る請求項１～５のいずれかに記載の釣り用浮き。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の釣り用浮きは、重さ調整物の収容および排出が可能な収容空間を内部に有する本体部と、前記本体部に着脱自在に取り付けられて前記収容空間に収容された重さ調整物

を前記収容空間内に封入するキャップ部とを備えた。